

財政力指数の向上

財政力指数の向上と今後の施策は

答弁: 収支の均衡、債務残高の圧縮、将来の備えを基本姿勢とした財政運営を行うとともに、さらなる自主財源を増やす努力をしております。

小林 利一 議員

小林 平成28年度の県内の市平均財政力指数は0.860です。本市は0.753であり、平均を下回り、県内40市中36番目となっております。市内には多くの企業が進出しています。農業も生産高は県内上位であり、バランスのとれた地域であると思っております。効率的な財政運営を行っていく上でも、財政力指数は重要です。財政力指数の向上と今後の施策について伺います。

総合政策部長 財政力指数の向上には自主財源である税金などを増加させることが有効であり、そのためには、工業団地開発等による雇用の創出、市税などの収納率の向上や新たな財源の確保等が必要となります。しかしながら工業団地の整備では、農地転用は厳しい制約があるため、用地確保は簡単ではありません。今後も増え続ける財政需要を考慮しつつ、行財政改革を一層推進しながら、きめ細やかな市民サービスを安定的、継続的に提供していくため、引き続き収支の均衡、債務残高の圧縮、将来の備えを基本姿勢として効果的で効率的な財政運営を図ってまいります。

地域医療

安心できる地域医療体制を

答弁: 地域医療ネットワークシステム「とねっと」については、システム更新により有効活用され、実績を積み重ねていく方向で努力をしております。

野中 芳子 議員

野中 済生会栗橋病院の現在の救急医療体制と、一部機能移転を見据えた医師確保に向けた支援について伺います。

また、地域医療ネットワークシステム「とねっと」は、構築時からの医療環境の変化や、平成30年度に予定しているシステム更新を受けてどう変化していくのかお伺いします。

健康医療部長 済生会栗橋病院によりますと、救急救命医を中心とした2名体制による24時間365日の受入れ体制が確保されており、救急搬送の要請に対する受け入れの割合は9割程度で年々増加傾向にあるとのこと。また、医師確保に向けた支援についても、済生会新病院の誘致に併せ、検討してまいります。

市長 「とねっと」については、従来以上に、医師にとって使いやすく、また患者に有効なシステムとなるよう更新作業を進めてまいりますと考えております。一方で、埼玉県地域医療構想にも明記されているように、システムの利用圏の拡大も大事であると考えておりますので、まずはシステムが加須市民にとって有効活用され、実績を積み重ねていく方向で最大限の努力をしております。

環境美化

環境美化サポートボランティア団体に対する考えは

答弁: ボランティアが活動しやすい体制づくりのため様々な点で積極的に支援してまいりたいと考えております。

金子 正則 議員

金子 市の財政も限られている中で、多くのボランティア団体が地域美化の活動を行っており、その役割は大きな力になります。今後もこのような活動をさらに広げていくために多くの市民の皆様を知っていただき、参加していただく体制づくりが必要であると思っております。今後のボランティア団体に対する取組みについて伺います。

市長 市民の皆様が、道路、公園等の公共施設の清掃活動など、環境美化に努めていただいていることは非常に大きな力になっております。このような地道な社会貢献活動に対し、市では積極的に支援するという考え方に立ち、物的な支援のほか、感謝状の贈呈といった表彰等も行っております。また、埼玉県道路協会においても道路功労者表彰、道路愛護功労者表彰等を行っており、市内の団体が連続して受賞しています。今後におきましても、表彰制度のみならず、ボランティアが活動しやすい体制づくりのため様々な点で積極的に支援してまいりたいと考えております。

地域医療

「とねっと」の利便性の向上に向けた取組みは

答弁: 地域医療ネットワークシステム「とねっと」については、平成30年度のシステム更新を図り、医師をはじめ利用者の皆様にとって、診療に役立つ有益なシステムとなるよう改善してまいります。

池田 年美 議員

池田 「とねっと」は、かかりつけ医と中核病院が連携し、地域全体で住民の医療を完結できるようにつくられたシステムと伺っています。より多くの方が利用しやすくするために、診察券がなくても「とねっと」のカード1枚で、自分の患者番号を登録済の医療機関で受診できるよう、また、常時複数の医療機関を受診している高齢者などが、診察券を何枚も持ち歩く必要のないように、システムの更新をいただきたいと思います。

健康医療部長 平成30年度のシステム更新につきましては、医師をはじめ、利用者の皆様にとっても、診療に役立つ有益なシステムに改善し、その結果として、質の高い医療の提供や救急面での更なる活用、健康管理面での更なる充実など、市民の皆様にもメリットとして還元されるシステムにしてまいりたいと考えております。また、「かかりつけ医カード」の利便性の向上を図るため、カードのICチップ化や予防医療を推進していく上での健康記録システムの充実に向け、検討しております。